

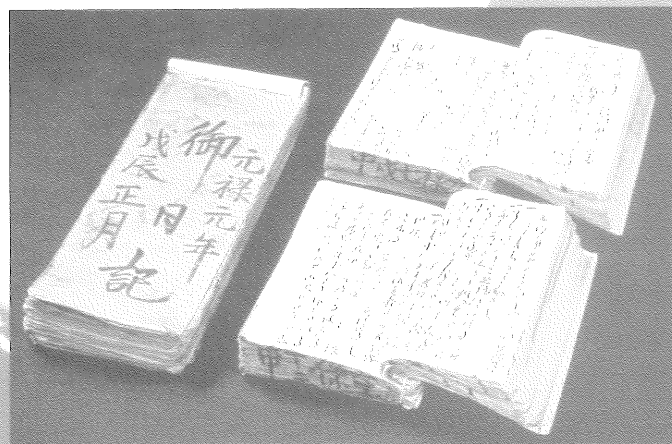
佐竹南家 御日記 第六卷

自 宝永元年 至 宝永五年

慶長七年、佐竹義宣秋田転封によって南家三代義種が湯沢城代となる。
元和六年、一国一城令による城破却後も所預として幕末まで家臣団の指揮にあたる。

「佐竹南家佐竹南家御日記」は佐竹南家の御用所において天和二年（一六八二）から慶応四年（一八六八）まで書き継がれた庶務日記である。地方武士の暮らしや農業、商業、交通、宗教、気象など詳細に記され、当時の社会事情を知る貴重な近世史料である。

本書は、宝永元年（一七〇四）から宝永五年（一七〇八）までの五年分を収録したものである。



○幕府の御目付が角館を巡見するため箱轄の提供を求められる（宝永元年正月）

○南家七代義安夫人の弟牧大助が大炊助に任ぜられたことによりお祝い申し上げる（宝永二年三月）

○義安の長子義歳が誕生する（宝永三年四月）

○義安の母慶寿院と夫人が総勢百十人のお供を連れて小安で湯治する（宝永四年五月）

○西国では新山（宝永山）出現のことが話題となっていると飛脚から聞く（宝永五年二月）

◎A5判・上製・布クロス装・函入

◎本文Ⅱ八〇〇頁

◎三〇〇部出版

◎定価八〇〇〇円（税込み）

待望の「第六卷」刊行される!!

◎発行＝湯沢市教育委員会（〒012-0105 秋田県湯沢市川連町字上平城120）
TEL 0183-42-5810 FAX 0183-42-2670

佐竹南家御日記第1巻	天和2年～貞享3年	8,000円
第2巻	貞享4年～元禄4年	8,000円
第3巻	元禄5年～元禄8年	8,000円
第4巻	元禄9年～元禄12年	8,000円
第5巻	元禄13年～元禄16年	8,000円

（頒布価格は全て税込み）